



この町で、この地で笑って老いたい ~そのために今すべきこと~

【まち協だより】

令和6年9月号

電話(FAX) 82-0933

発行:山上まちづくりの会事務局

【9月4日常任委員会の報告：支え愛事業】

●木村会長が支え愛部の部長代理として事業を進めることになりました。

【今年の事業】

- ・高齢者が孤独にならないよう、様子うかがいをして話し相手になる活動。
- ・『日南あんしんキット』(福祉保健課)の普及と更新。
- ・日南町高齢者世帯軽度生活援助事業(福祉保健課)の普及と申請援助。
- ・シルバー人材センター登録者やボランティア作業をする方に作業機材を貸し出す援助。
(電動の刈払い機・トリマー・ブロアー・ポールソーなど作業道具を貸し出します。お電話ください。)

【昨年始めた『山上ちょこっと応援隊』から今年の事業に至る経緯】

●昨年始めた『山上ちょこっと応援隊』では社会実験的意味合いもあり草刈りをメインにした活動になりました。そこでわかったことは30分程度の時間では目に見える作業結果が出ないということ、草刈りでは最低でも休憩を入れて1時間から1時間半の作業時間が必要であるということでした。

●今年に入り異常な暑さで、昨年活躍された男性が熱中症や過労で3人寝込まれている情報も入りました。山上地域内の様子を見ても暑さで屋外に出られず、自分の家の周辺やお墓の清掃整備も困難で、とてもボランティア作業員を募集出来るような状況でないまま9月をおかえました。

常任委員会では、今後も暑さは続くだろう、無理なく継続できる事業内容に変更すべきという意見が出されました。基本的に作業は公的機関やプロに取り次ぎ、低予算で作業委託できる公的制度の普及を事業の中心に据えることになりました。

●支え愛アンケートはまち協では取り組まない。毎年の支え愛マップの更新で十分であり、必要を感じた場合は各自治会でアンケートを実施する。必要であれば福祉保健課に協力を仰ぎ、マップ作りに反映させることになりました。

●日南町高齢者世帯軽度生活援助事業

【対象】日南町に住所がある在宅の、概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯の高齢者。

【援助してもらうのに必要なお金】

シルバー人材センターの草刈りなどの作業費の自己負担が申請者の条件により、2割負担・3割負担・半額負担になるなど安くなります。

例:草刈り1時間 1980円。2割自己負担なら396円と事務手数料ですみます。

【申請先】福祉保健課。

まち協でも申請の代行をします。連絡ください。

●日南あんしんキット



磁石つきフックで冷蔵庫につけておく方法もあります。正面でも側面でもOKです。

避難・緊急時に消防や病院の皆さんが高齢者を助ける基礎資料です。

『日南あんしんキット』があることで迅速な対応ができ、助かった方が沢山います。家族全員の医療情報を入れておきましょう。

信義 信愛 勤勉を目標に 前編

明治34年から岩雄が務めることになった山上尋常高等小学校は、現在の山上小学校の位置にありましたがその広さは今の校地に比べて四分の一ほどの狭い面積でした。岩雄は農村の学校というのは一年中花が咲いていて、その中に校舎があつて子ども達が楽しくのびのびと勉強できるような学校がいいと考えていましたので、何とかもっと広い校地にしたいと思ひました。

校舎は山のはしを開いて建てられていましたので、山すそを次々に削つて、まず校庭を広げていきました。そして、校舎の間の空き地や校庭のはしには花壇が作られ、木が植えられました。これは観賞用のためだけではなく観察用のためにも使えるように工夫されていきました。また、先生と子ども達とが力を合わせて作業をする場所にもなっています。高学年の子どもたちは毎日のようにおいこ（竹で作った荷かごで土を入れて背負って運ぶ）を背負つて学校に通うので、とうとう、おいこも学用品の一つになつてしまいま

した。親は子どもが5年生になると、手頃な大きさのおいこを新しく作つて持たせるようになりましした。

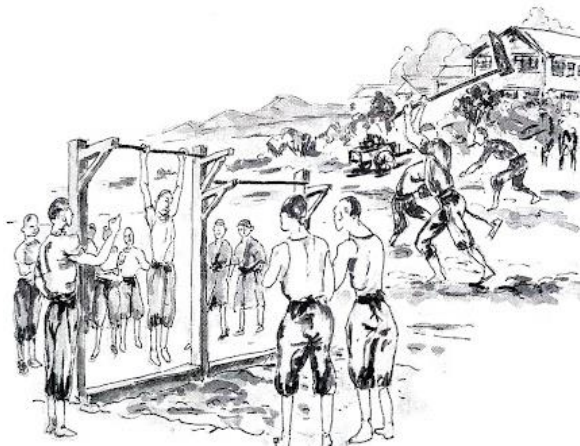
「将来大臣になる人も、土にまみれた体験を持つことが大切だ。」と、岩雄は子ども達にいつも話しましたが、子どもたちを土に親しませることも大切な教育だと考えたのです。

先生方も岩雄の考へていることをよく理解して、子ども達の教育に熱心に取り組みました。先生もわらじを履き、子どもたちにもわらじを履かせて山や野原を存分にかいまわつたり、放課後とらえてきたキジや山鳥をはく製にして理科の授業に使つたりしました。農村の環境を生かした体験を大切にする教育を進めていくことにみんな一生懸命でした。

また、岩雄が力を入れたことに体育がありました。師範学校の生徒のころ、「私は他の学科では人に負けるとは思われないが、体操と音楽がたいへん不得手なので、総合すると成績が落ちる。」と言つていたほどで、自分は体育が苦手でしたが、それだけに体育を大切に考へていました。

「運動の時間」として30分ほど時間を決めて、先生も子どもも全員が校庭に出て一緒に運動したり、また放課後は、鉄棒を中心と

した機械体操、テニスやベースボールなどのボール運動をさかんにやらせるようにしました。このような努力が実つて、その後山上にはテニスに強い選手がたくさん育ちました。



このように、岩雄は体験を大切にした学習や体育に力を入れましたが、その考へが一番もつになつていたのは、学習には弱くても、教室では縮んでいても、「さあ、作業だ。」となると、誰よりもよく働く子供など、ひとりひとりに特色があるので、その子の得意な面を大事にして、立派な人間を育てたいということでした。岩雄は、いろいろと考へたうえで、山上尋常高等小学校の校訓を「信義・信愛・勤勉」と決めました。

山上文化祭（11月4日）

展示作品を募集します。

山上文化祭を今年度も山上地域振興センターを会場として
11月4日（月・振替休日）に開催いたします。

つきましては、書道・絵画等の作品をぜひ出品いただきます
ようご案内申し上げます。

【今年の内容について】

- 作品・活動展示以外については栗饅頭を作って体育館内で販売する以外は詳細が決まっておりませんが、展示物の準備に時間がかかりますので前倒しで作品募集いたします。
- 巡回送迎バスはありません。今もまだコロナ禍のため、コロナの蔓延状況によっては文化祭の内容が変わる場合もあります。
- 11月3日に日南町ふる里まつりがあり、山上文化祭は11月4日開催にしました。

（切り取り線）

2024 山上文化祭出品申込書

お名前	
電話番号	
作品名	
内 容	書道・絵画・水墨画・写真・手芸・生け花・俳句・絵手紙 その他（ ）
展示方法	展示台に置く ・ 壁にかける
備 考	

※申込は10月末までをお願いします。

※作品は事務局でお預かりします。早く持ち込まれても大丈夫です。

出品プレートに名前と作品名を書いてもらいます。

※作品展示作業は11月3日(日)17時からです。

お問合せ：山上地域振興センター 電話/82-0933